

所 属	地域県民部 総合交通室		
担当(係)名	鉄道バスグループ	内 線	2733

(款) 2 総務費	(項) 2 企画開発費	(目) (5) 交通対策費
(明細書事業名) 鉄道対策費 第三セクター鉄道支援事業		

1 当初予算(要求)額(千円)

42,461

2 当初予算(決定)額(千円)

42,461

【財源内訳】 一般財源

(前年度 51,527)

42,461

3 事業概要

第三セクター鉄道は、発足以来の懸命な合理化、経済努力にもかかわらず今後とも大幅な収入増が見込めず厳しい経営環境にあるため、利用者サービスの改善、保安度向上を図るために要する経費に対して県と沿線市町村が国と協調して補助(鉄道軌道近代化設備整備費補助)をする。

4 施策の効果

車両更新、軌道強化、ホームの嵩上・延伸等の設備近代化のための事業を促進し、サービスの改善及び保安度の向上に資する。

5 要求の内容

全国統一の実施事業

安全性緊急評価(樽見、長良川鉄道)・・・2,000千円

安全性強化事業

自動列車停止装置改良(樽見鉄道)・・・736千円

集中連動装置導入(明智鉄道)・・・13,250千円

ブレーキの二重化(長良川鉄道)・・・500千円

通信ケーブルの更新(神岡鉄道)・・・3,807千円

踏切故障検知装置設置(神岡鉄道)・・・89千円

気象監視装置設置(神岡鉄道)・・・2,463千円

老朽化・機能低下防止改善事業

橋梁の改修(樽見鉄道)・・・1,971千円

重軌条交換及びコンクリート枕木化(樽見、長良川鉄道)・16,892千円

踏切遮断機の更新(樽見鉄道)・・・753千円

6 用語の解説

重軌条交換・・・レールの長さ1m当たり50kg以上のレールに交換すること。

軌道に狂いが少なく、高速化や線路保守の軽減対策に効果がある。